

# 日本歴史言語学会 2016 年大会 開催のご案内

秋涼の候、同学諸氏にはご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、日本歴史言語学会 2016 年大会が後掲のような要領で開催される運びとなりました。幸い会場は福岡都心に位置し、交通は至便でありますし、用意されたメニューはいずれも興味深いものであります。さまざまな言語の多様な歴史的研究の成果に触れて新たな着想を得るための、また研究者同士が輪を広げ、切磋琢磨するための貴重な機会となることと期待いたします。今春震災に見舞われた九州の復興を応援する意味も込め、現会員の方はもちろん、非会員の方々も、万障お繰り合わせの上、足をお運びいただきますようお願い申し上げます。

日本歴史言語学会 会長 神山 孝夫  
大会委員長 大木 一夫

## 記

開催日時	2016年11月19日（土）～ 20日（日）
開催場所	九州大学西新 <sup>にしじん</sup> プラザ（福岡市早良区西新2-16-23）
	受 付 交流ラウンジ（2階）
	主要会場 大会議室A, B（2階）
	ポスター発表 交流ラウンジ（2階）
	書籍販売 同上
	休憩室 同上

共催 九州大学大学院言語文化研究院、九州大学大学院人文科学研究院

大会委員長 大木一夫（東北大学）  
大会実施委員 板橋義三、田中俊也（九州大学）

大会参加費 日本歴史言語学会会員は無料

非会員 2000 円（一般）、1000 円（学生）

（熊本地震で被災された方とそのご家族は無料です。受付にてお申し出ください。）

# 日本歴史言語学会 2016 年大会 プログラム

第一日 11 月 19 日 (土)

- 13:00- 受付 於 交流ラウンジ (2 階)
- 14:00-14:30 開会式 於 大会議室 A, B (2 階)  
開会の辞 会長 神山孝夫 (大阪大学)  
会場校挨拶 福元圭太 (九州大学大学院言語文化研究院長)
- 14:30-16:45 講演会 於 大会議室 A, B (2 階)
- 14:30-15:30 講演 1 ゴート語摩擦音有気化  
—ヴェルナーの法則、トゥルナイゼンの法則、語末無声化—  
鈴木誠一 (関西外国語大学教授)  
司会：清水誠 (北海道大学)
- 15:45-16:45 講演 2 音声言語と文献言語と歴史言語学  
—シベ語と満洲語と歴史言語学—  
久保智之 (九州大学教授)  
司会：板橋義三 (九州大学)
- 16:50-17:20 総会 於 大会議室 A, B (2 階)
- 17:30-19:30 懇親会 於 展示コーナー (1 階)

## ●懇親会の案内

会員間の親睦を深めるべく、懇親会を行います。ぜひご参加ください。

会費 5,000 円 (学生会員は 3,000 円)

申込〆切 11 月 16 日 (水) 午後 5 時まで

申込先 histling19and20nov2016@gmail.com (九州大学言語文化研究院 田中俊也 宛)  
@を半角に変えてご利用ください。

## ●昼食の便

学会中は、施設内にレストランがありませんので、地下鉄西新駅の周辺の食事処を利用してください。また、20 日 (日) の昼食のお弁当は事前にご注文いただけます。

費用 1,000 円 (税込み)

申込先と〆切は、上記の懇親会の場合と同じです。

## 第二日 11 月 20 日 (日)

9:20- 受付 於 交流ラウンジ (2 階)

9:20-10:50 ポスター発表 於 交流ラウンジ (2 階)

和田忍 (東京都市大学)	後期アングロ・サクソン・イングランドにおける異教徒 hæðan の語彙について—Ælfric の古英語散文 <i>Lives of Saints</i> の説話を中心に—
神山孝夫 (大阪大学)	印欧諸語における rhotacism の発生原因について
黒田享 (武蔵大学)	派生形態素の機能希薄化

10:55-16:40 口頭発表 於 大会議室 A, B (2 階)

10:55-11:25 口頭発表 1 司会：高山倫明 (九州大学)

韓炅澔 (東國大学校)	東京大学図書館所蔵清原宣賢の訓点本『中庸章句』と『經典釈文』の比較研究
-------------	-------------------------------------

11:30-12:00 口頭発表 2 司会：高山倫明 (九州大学)

松本飛鳥 (ワルシャワ大学)	ロドリゲス『日本大文典』における複合動詞と particula の関係性について
----------------	--

12:00-13:00 休憩

13:00-13:30 口頭発表 3 司会：櫻井映子 (東京外国語大学／大阪大学)

南徳鉉 (東北大学・院)	シベリアの諸言語におけるロシア語的な関係節の発達に関わる言語内的要因
--------------	------------------------------------

13:35-14:05 口頭発表 4 司会：町田健 (名古屋大学)

LAKER, Stephen (九州大学)	Dental fricatives in Early and Modern English
--------------------------	---

14:10-14:40 口頭発表 5 司会：菊澤律子 (国立民族学博物館／総合研究大学院大学)

神田和幸 (NPO 手話技能検定協会)	手話の源流調査と手話歴史言語研究の方法の提案
---------------------	------------------------

14:40-15:00 休憩

15:00-15:30 口頭発表 6 司会：嶋崎啓 (東北大学)

黒田享 (武蔵大学)	古高ドイツ語脱名詞動詞の形成法
------------	-----------------

15:35-16:05 口頭発表 7 司会：千種眞一 (東北大学名誉教授)

笠松直 (仙台高等専門学校)	仏教混交梵語文献におけるアオリストの問題再考—abhūṣi/abhūṣīt/abhūt の用例検証—
----------------	--

16:10-16:40 口頭発表 8 司会：千種眞一 (東北大学名誉教授)

堂山英次郎 (大阪大学)	印欧祖語の接続法接辞について —古アヴェスタ語資料の検討—
--------------	-------------------------------

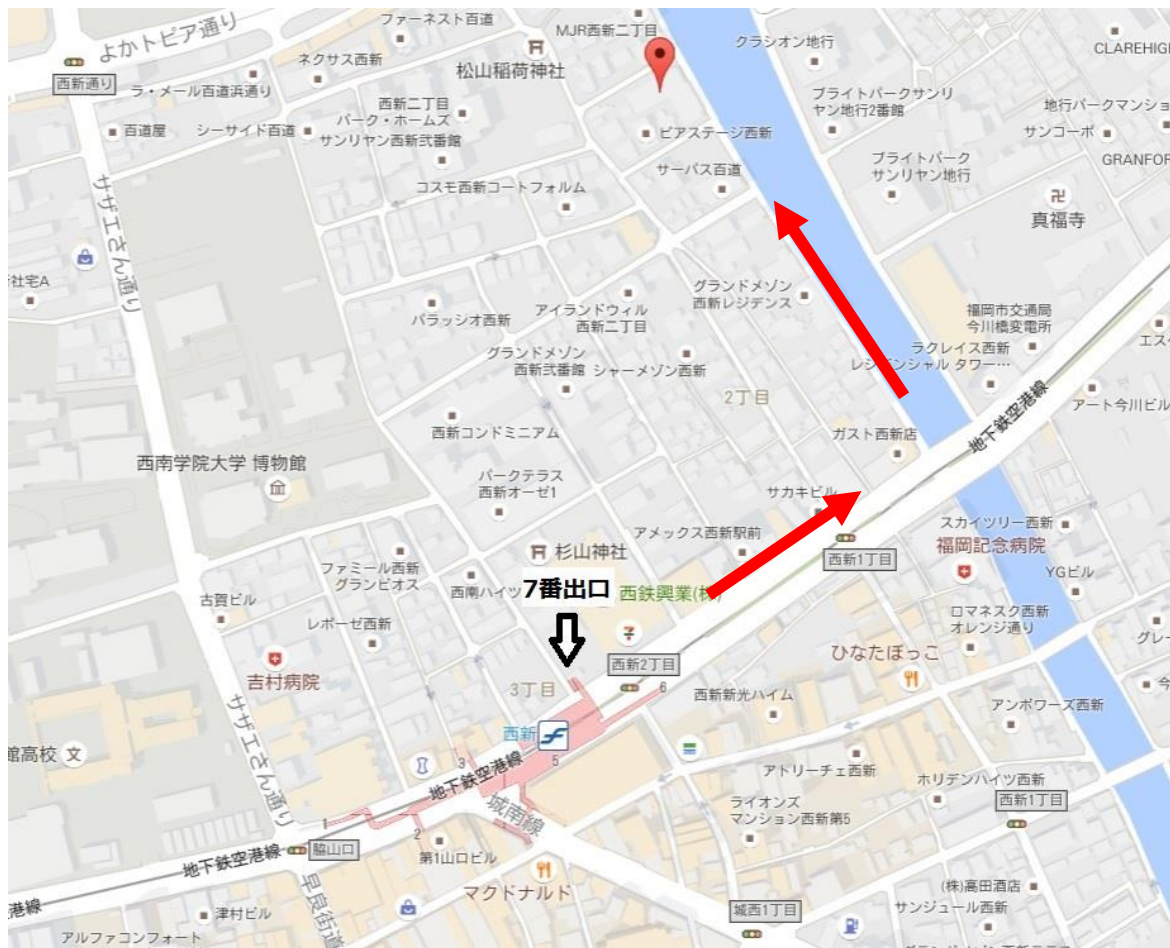
16:40-16:50 閉会の辞 副会長 菊澤律子 (国立民族学博物館／総合研究大学院大学)

## 九州大学西新<sup>にしじん</sup>プラザへのアクセス

福岡空港から	地下鉄空港線「姪浜」 <sup>めいのはま</sup> 行き乗車	約 20 分
博多駅から	地下鉄空港線「姪浜」 <sup>めいのはま</sup> 行き乗車	約 15 分

いずれも、「西新」<sup>にしじん</sup>駅下車、7 番出口より徒歩約 10 分

7 番出口を出て、左に 200m ほど進むと、川が目前に見えるので、その橋（今川橋）の手前左にあるガスト西新店のところを左に曲がって約 300m 先です。



九州大学西新プラザ

〒814-0002 福岡市早良区西新 2-16-23

<http://nishijinplaza.kyushu-u.ac.jp/access.html>

（上記 HP にアクセス情報、施設の案内図があります）

にしじん

# 西新プラザ 施設案内図

## 1 階



## 2 階



## お知らせ

### 入会と会費納入

日本歴史言語学会では会費を低額に抑える方針を採り、専門の研究者、その志望者のみならず、言語の歴史的研究にかかわるあらゆる方への入会・参画を歓迎しています。

入会には以下2点が必要です。詳しくは <http://www.jp-histling.com/Pages/fee.aspx> をご覧ください。

#### 1. 入会申込書の提出

大会受付でも記入・提出できますが、受付の混乱と転記ミス防止のため、メール添付での事前提出をお勧めします。入会申込書は上記URLから入手できます。

#### 2. 年会費の納入（現会員の方もご高配ください）

年会費は大会受付でも納入できますが、なるべく郵便振替口座をご利用ください。

郵便局備え付けの払込用紙を利用し、通信欄にはおところ、お名前、払込金の用途（例えば「普通会员2016年会費」）とメールアドレスを記載してください。

郵便局（ゆうちょ銀行）以外の一般銀行やネットバンクからも納入できます。

普通会员 4000円（下記以外の会員）

学生会員 2000円（学生である会員）

シニア会員 2000円（定年退職後定職を持たない会員）

賛助会員 10000円（一口）（趣旨に賛同する法人等）

郵便局から	他行から
郵便振替口座 00980-7-217339 日本歴史言語学会事務局	ゆうちょ銀行〇九九店 当座預金 0217339 日本歴史言語学会事務局

### 学会誌『歴史言語学』

日本歴史言語学会の学会誌『歴史言語学』（*Historical Linguistics in Japan: HLJ*）はわが国の歴史言語学徒を繋ぐ市販の定期刊行物です。各種書店、amazon.co.jp 等で注文・入手できますが、版元のご協力により大会時には特別割引で販売されます。この機会にバックナンバーを含めてどうぞ積極的にお買い求めください。投稿もお待ちしています。

### お問い合わせ

会場について： 大会実施委員 板橋義三（九州大学）[itabashi@design.kyushu-u.ac.jp](mailto:itabashi@design.kyushu-u.ac.jp)

大会について： 大会委員長 大木一夫（東北大学）[ookikazuo@ml.tohoku.ac.jp](mailto:ookikazuo@ml.tohoku.ac.jp)

その他： 事務局長 田口善久（千葉大学）[info@jp-histling.com](mailto:info@jp-histling.com)

@を半角に変えてご利用ください。

日本歴史言語学会  
Japan Society for Historical Linguistics: JSHL  
会長 神山孝夫  
<http://www.jp-histling.com>